

〔例題1〕 衆議院と参議院の権能に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 内閣総理大臣の指名は、衆議院のみが持つ権能であり、指名には衆議院における過半数の賛成が必要である。
2. 内閣不信任決議は衆参両院が行うことができ、衆参両院でともに可決された場合、内閣は衆参両院を解散するか、総辞職することとなっている。
3. 衆議院で可決された法律案が参議院で否決された場合、その法律案は、衆議院で出席議員の3分の2以上の多数で再び可決したときは、法律となる。
4. 国の予算は、まず参議院で審議され可決された後、衆議院で審議がされ可決されると成立する。
5. 憲法改正の発議は、衆議院と参議院それぞれの総議員の過半数の賛成で、国会が行う。

【正答：3】

〔例題 2〕 窒素に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. 窒素の単体は常温では化学的に安定である。
- イ. 窒素の単体は乾燥空気中に酸素に次いで多く含まれる。
- ウ. 窒素はグルコース（ブドウ糖）やデンプンの主要な構成元素である。
- エ. 液体窒素は冷却剤として用いられる。
- オ. 窒素を酸素と反応させるとアンモニアが生じる。

- 1. ア, エ
- 2. ア, オ
- 3. イ, ウ
- 4. イ, エ
- 5. ウ, オ

【正答：1】

〔例題3〕 ある箱に入っている赤玉と白玉の個数の割合は1：2である。いま、1回につき赤玉3個と白玉4個をまとめて箱から取り出すことを何回か行ったところ、赤玉は全部なくなり、箱には白玉だけが22個残った。このとき、最初に箱に入っていた赤玉は何個か。

1. 30個
2. 33個
3. 36個
4. 39個
5. 42個

【正答：2】

〔例題4〕 人権に関する記述として、**誤っている**のはどれか。

1. 同和問題とは、日本社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分階層構造により、日本国民の一部の人々が長い間、経済的・社会的・文化的に低位の状況を強いられ、現在でも日常生活の上で差別を受けるなどの日本固有の人権問題である。
2. 「大阪府在日外国人施策に関する指針」は、すべての人が、人間の尊厳と人権を尊重し、国籍、民族等の違いを認めあい、ともに暮らすことのできる共生社会の実現をめざしている。
3. 大阪府では、子どもの貧困対策として、2018年に創設した「子ども輝く未来基金」を活用し、子ども食堂等における学習教材の購入支援や、ひとり親家庭の子どもに対する自転車・学習用品・スポーツ用品等の提供などに取り組んでいる。
4. 大阪府では、障がい者の差別解消に向けた取組みとして、「大阪府障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」を2021年4月に一部改正し、事業者による合理的配慮の提供を法的義務から努力義務とした。
5. パープルリボンは、「女性に対する暴力をなくす運動」のシンボルマークであり、大阪府内各地でもパープルリボンにちなんだパープル・ライトアップを実施するなど、啓発活動に取り組んでいる。

【正答：4】